

◆アンゴラ、サントメ・プリンシペ、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、カメルーン、赤道ギニア◆

中央アフリカの国々・7カ国への旅 15日間

出発日限定期別企画	
旅行期間	2月28日(水)~3月13日(水)
旅行代金	1,698,000円
一人部屋利用追加料金	240,000円

- 利用予定航空会社：エチオピア航空。
- 添乗員：成田空港より全行程同行します。
- 食事：朝食12回・昼食10回・夕食12回(機内食除く)
- ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
- 海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- 旅券残存期間：カメルーン入国時6ヶ月以上
- 旅券査証欄余白：10頁以上(見開き1カ所含)
- 最少催行人員：10名(最大18名)

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

- 成田空港使用料・保安サービス料：3,010円
- 国際観光客税：1,000円
- 燃油サーチャージ目安：90,190円(2023年8月現在)
- 査証代：アンゴラ(120USドル/現地払い)、赤道ギニア(75USドル相当日本円)、ガボン(85ユーロ/現地払い)、コンゴ共和国(30,000円)、コンゴ民主共和国(11,000円)、カメルーン(15,000円)

○査証取得代行手数料：7,150円(税込)

○査証用写真：カラー5枚(4.5×3.5cm)

★査証取得の際、黄熱病予防接種証明書(イエローカード)と英文預金残高証明書(20万円以上)が必要です。詳しくはお問い合わせ下さい。

※査証代、必要書類や取得条件などは変更となる場合もございます。

査証取得に1ヵ月近く要します。お早めのご検討をお願いいたします。

◆カメルーン◆

19世紀後半からヨーロッパ列強の植民地となりましたが、1960年にフランス領カメルーンとして独立。その後、南北に国が分裂した時代を経て、1984年に現在のカメルーン共和国となりました。イギリス領



とフランス領に分かれていた歴史から公用語は英語とフランス語。およそ250の部族が270の言語や方言を話す、多様性に富んだ国であります。

◆赤道ギニア共和国◆

アフリカ大陸にあるムビニ地域と首都マラボのあるビオコ島を含む5つの火山島から成る国。首都はビオコ島ですが、面積の90%は大陸のムビニ地区で、人口の大半が居住しています。1968年にスペインから独立。ブラック・アフリカで唯一の旧スペイン領。近年の石油開発により経済成長は見られるものの、国民党は相変わらず貧困に苦しんでいます。公用語はスペイン語。



都市名	スケジュール
1 東京	☆スーツケースは無料宅配サービスで身軽に空港へ。 ■夜、成田空港より、空路、ソウル寄港、アジスアベバ乗り継ぎ、空路、アンゴラの首都ルアンダへ向かいます。 (機中泊) □ □ □
2 ルアンダ	■午後、ルアンダ着後、ルアンダ市内観光。内部は美しいアズレージョで飾られたサン・ミゲル要塞(軍事博物館)○、巨大な塔のような外観の初代大統領ネットの靈廟○、エiffel設計の鉄の宮殿○など。 (ルアンダ泊) □ □ □
3 ルアンダ サントメ	■午前、空路、サントメ・プリンシペ共和国の首都サントメに向かいます。 ■午後、首都サントメの市内観光。大聖堂○、大統領官邸○、サントメ要塞○、中央市場○など。
4 サントメ滞在	■終日、サントメ島の観光。ジャングルの中に聳える高さ300mの黒い岩の塔ピコ・カオ・グランデの眺望○、コーヒー・プランテーション跡○、豪快に海水を吹き上げるボカ・ド・インフェルノ○、ネヴィス村○、カカオ・プランテーション跡○などにご案内します。 (サントメ泊) □ □ □
5 サントメ リーブルビル ガボン	■朝、空路、ガボン共和国の首都リーブルビルへ。 ■着後、リーブルビルの市内観光。マーケット○、サン・ミシェル教会○、ノートルダム・ド・ルルド○などにご案内します。 (リーブルビル泊) □ □ □
6 リーブルビル ブラザビル コンゴ共和国 +コンゴ民主共和国	■午前、空路、アフリカ内都市乗り継ぎ、コンゴ共和国の首都ブラザビルへ。 ■夜、着後、ホテルへ。
7 ブラザビル滞在 (キンシャサ)	■終日、コンゴ川を挟んだ対岸に位置する、コンゴ民主共和国の首都キンシャサの観光へ。往復ともフェリーで訪れます。カビラ前大統領廟○、教会○、マーケット○など。
8 ブラザビル滞在	■終日、ブラザビル市内観光。コンゴ川流域を探検したブラザ卿記念館○、前衛的なデザインの聖アン聖堂○、町の象徴的高層ビル・ナベンバタワー△、コンゴ川の急流ポイントの遠望○など。 (ブラザビル泊) □ □ □
9 ブラザビル滞在	■終日、ブラザビル郊外の観光。素朴な暮らしが息づくマーハー村○、密林に囲まれた神秘的な青の湖を望む展望台○、希少なローランドゴリラが保護されているゴリラ・サンクチュアリ○にご案内します。 (ブラザビル泊) □ □ □
10 ブラザビル ドゥアラ +カメルーン	■出発まで、ご休憩など自由行動。 ■午後、カメルーンの商業の中心地ドゥアラへ。 (ドゥアラ泊) □ □ □
11 ドゥアラ滞在	■午前、ドゥアラ市内観光。大聖堂○、ベル王宮○、花市場○などにご案内します。 ■その後、近郊のリンベの観光へ。ゴリラやチンパンジーを保護するワイルドライフセンター○、リンベ植物園○など。
12 ドゥアラ マラボ	■昼、空路、ビオコ島にある赤道ギニアの首都マラボへ向かいます。 ■午後、首都マラボの市内観光。中央市場○、カテドラル○、スペイン植民地時代の建物など。
13 マラボ滞在	■終日、ビオコ島の周遊観光。海の民が住むリリアバ村○、モカ湖の眺望○、イラチ滝○など。
14 マラボ	■午後、空路、アジスアベバ乗り継ぎ、ソウル寄港、帰国の途へ。(機中泊) □ □ □
15 東京	■夜、成田空港着。入国、通関後、解散。 ☆スーツケースは無料宅配サービスで、身軽にご自宅へ。

観光客、及び日本人が訪れることが稀な国々です。その為、出入国審査において、時間を要する場合が殆どであることお含みおき下さい。スマーズに手続きを行えるよう、事前準備を怠らなければ、過去、査証があるにもかかわらず入国拒否された事例があるなど、私共の常識が通用しない地域でもあることをご承知の上、お申し込み下さいよう、お願い申し上げます。※場所柄、ホテルの設備は國際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的に湯の出が悪くなります。
※お客様ご自身でスーツケースをお運びいただく場合もございます。
※お土地柄、お一人様が二席お使いいただける大型バスはございません。また、複数の車両に分乗となる場合もございます。

◆サントメ・プリンシペ民主共和国◆

ギニア湾に浮かぶサントメ島、プリンシペ島と小さな島々から成る共和国。無人島でしたが、1470年にポルトガル人が上陸、流刑地として使われる一方、奴隸貿易の中継基地となりました。1975年にポルトガルより独立。サントメ島に人口の90%が居住。カカオのプランテーションが主要産業。近年、沖合に新しく油田が発見され、近い将来石油の産出が見込まれています。公用語はポルトガル語。



◆ガボン共和国◆

赤道直下の小国ですが、石油などの天然資源に恵まれ、1人当たりの所得がアフリカで最も高い国の一つ。1839年からフランスの植民地に。首都は「自由の町」を意味する「リーブルビル」。1960年にフランスから独立。2002年、森林と野生動物を保護するため、13の国立公園を設定。その総面積は実に国土の約11%を占める自然大国です。公用語はフランス語。

◆アンゴラ共和国◆

1975年ポルトガルより独立も、すぐに内戦が始ま1991年まで続きました。内戦終結後は、世界でも有数の埋蔵量を誇る石油、ダイアモンドなどの地下資源をもとに、経済は急速に拡大。公用語はポルトガル語。

◆コンゴ民主共和国◆

コンゴ川の南に位置する大きい方の国。アルジェリアに次いでアフリカ大陸で2番目に広い。1960年、ベルギーにより独立。その後、国名をザイール共和国に改称したが、1997年に再びコンゴ民主共和国に。その後、近隣の国々も巻き込んだ内戦が始まる。この戦争でおよそ300万人が犠牲となるが、関わった各國の目当てはこの国の鉱物資源でした。2003年、国連の支援により和平合意と暫定政府が成立。

◆コンゴ共和国◆

2つのコンゴの内、コンゴ川の北に位置する小さい方の国。北部は人が住めないジャングル地帯で、人口は少なく南西部に集中しており、大半はブラザビルと大西洋岸のボワント・ノワールに住む。コンゴ王国の一部、ポルトガル領、フランス領赤道アフリカと変遷し、1960年フランスより独立。1970年からは社会主義体制となつたが、1992年に崩壊。民主化への道を歩み始めました。サトウキビ、キャッサバなどの自給自足の農業国。近年、海底油田が開発され、輸出の85%を占めるようになりました。



より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）
◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様のご負担となります。

●航空機及び移動について

◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日程表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで示しております。
◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的地での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合の責任は負いかねますが、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。
◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならないこともあります。
◇僻地や列車での移動でボーターがない場所では、お客様にご協力をいただき自身のお荷物をお運びいただくこともあります。

●利用航空機について（日本発着便）

◇エチオピア航空、ターキッシュ・エアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、全日空、日本航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空、キャセイ・パシフィック航空、南アフリカ航空。

●日程中のマークの読み方

■朝食、■昼食、■夕食、■機内食、■：食事なし

○：入湯観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00 06:00 08:00 12:00 13:00 17:00 19:00 23:00

深夜 早朝 朝 午前 昼 午後 夕刻 夜 深夜

●ご宿泊について

◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて**、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の40日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋へ希望を変更することは原則不可となります。

◇シングル・ルーム（お一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が手狭だったり浴室の設備がシャワーのみの場合がございます。

◇国によっては、二部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などによりお一人部屋になることもあります。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。

◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態でご利用いただくため、お部屋が手狭となります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できないこともあります。その場合、お一人部屋（追加料金が必要です）をご利用いただくことになります。

◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準に、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャーマン・ツインタイプのお部屋もございます。

◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。

◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当ており、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階でのお部屋をご用意できないこともあります。又、伝統やスタイルによるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気を味わっていただける反面、部屋により広さや調度品が異なり、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

◇お座席の混雑具合により料金が変動いたしますので、早めのお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。

◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一になります。

スーツケース無料宅配サービス付き

ご出発時は、ご自宅からご出発の空港まで。ご帰国時は空港からご自宅まで、皆様の大きなスーツケースは無料の宅配サービスでお運びいたします。

昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けます。

●個人情報の取り扱いについて

◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報にしましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要な範囲内で提供させて頂きます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下で確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただけためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の中占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

●確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

ご旅行条件（要旨） ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前まで不要） ● 40日前から 31日前までの取消し		旅行代金の 10% (限度額 5万円)
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ● 30日前から 21日前迄の取消し	30万円以上 15万円以上 30万円未満 15万円未満	50,000円 30,000円 20,000円
以下は全ての旅行に適用 ● 20日前から 3日前までの取消し		旅行代金の 20%
● 前々日から当日		旅行代金の 50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の 100%

●「ピーク時」とは 12/20～1/7、4/27～5/6 及び 7/20～8/31 をいいます。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一部部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一部部屋追加代金について

◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消された場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一部部屋利用追加代金のお支払いが必要となります**。尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

◇この旅行条件は2023年8月24日を基準としております。また旅行代金は2019年8月24日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるLIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があつても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧下さい。又、当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

マラリアについて

アフリカは、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出国の条件にはなっていませんが旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、震え、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間に潜伏することが多いといわれています。マラリアの治療】マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ぐにに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してまだ有効な予防接種はありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用をはっきりと推奨しておらず、個人的な意思に任せるとあります。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取線香やペーパーを焚くといいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/> にてご確認下さい。

★特殊・秘境地域に対するご理解とお願い★

当パンフレットで扱うアフリカの国々は、まさに秘境地域です。当社はこの地域を扱い始めて約二十年になり、現地手配会社とのコミュニケーション、添乗員からの報告やお客様からのアンケートなど過去の経験をもとに、より快適な旅行となるべく努力しております。しかしながら、ヨーロッパの国々とは違い、運送期間、宿泊設備やサービスなど、あらゆる面で何かしらの問題が発生するのが実情です。皆様のご協力、助け合いなしではツアーラーが成立しないこと、ご理解下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

◇航空便が、天候や航空会社の都合により予定通り運航しない場合もございます。その場合、日程、観光内容、宿泊地が現地で変更になること、お含みおき下さい。約款上、日程変更に伴う追加費用、帰国が遅れた場合の延泊費用などは、ご参加者の皆様のご負担となります。予めご承知の上、お申し込み下さいますようお願い申し上げます。